



ふれあい 放水路

1996
(平成8年)
第23号
2月



厳寒の荒行

〜馬木不動尊〜

千葉成田、東京目黒、出雲馬木のいわゆる日本三体不動尊の一つとして、現在も厚い信仰を得ている出雲市馬木町の馬木不動尊光明寺で、年明け最初の縁日にあたる一月二十八日、恒例の「水行」と「大祈とう会」が行われました。

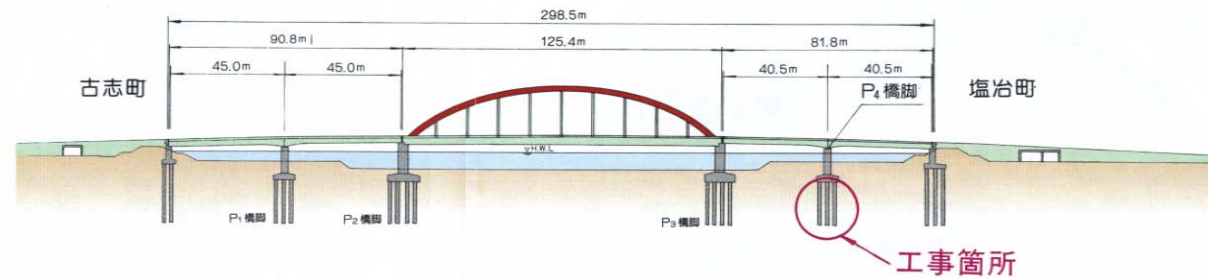
この日、寒さ厳しいこの時期にしては比較的穏やかな天気にはなりましたが、それでも冷たい風が吹き付け、文字どおり厳寒の荒行となりました。

午前十時、土井住職と五人の僧侶が境内に据え置かれた水おけの前で、一心に「水行肝文みづいんかんもん」というお経を唱えた後、下帯一つの姿で気合いを入れて、何度も冷水を頭からかぶり、「世界平和」「無病息災」を祈願しました。

周りを取り囲んでいた多くの信者たちは、熱心に手を合わせ、この荒行を見守っていました。

古志橋の橋脚の基礎杭ができるまで

古志橋右岸改築工事に伴うP4橋脚の基礎杭の工事が完了しました。基礎杭は、およそ2500トンの橋脚と橋げたの重さを支えるためのもので、地中に直径1.2m、長さ39.5mのコンクリートの基礎杭を18本施工しました。今回は、その基礎杭ができるまでの過程を紹介します。

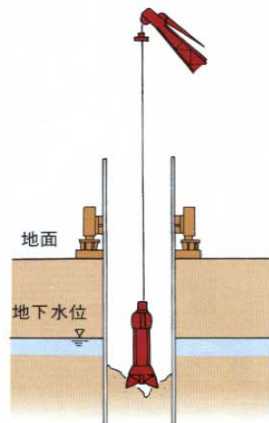


今回の工事はリバース工法で行いました。

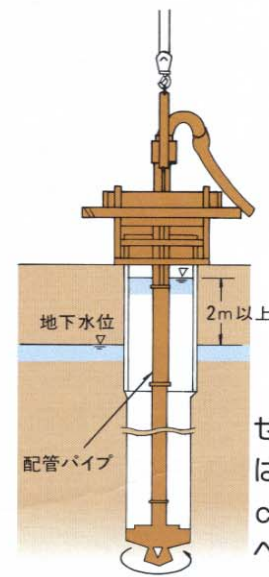
これは、掘削する穴の中の水位を地下水位より2m以上高く保ち、水圧で穴の壁が崩れにくい状態にしながら掘削を行う工法です。今回掘削する地中には、8~10cmの玉石の層があると思われたため、比較的玉石に強いリバース工法を採用しました。

1. スタンドパイプの打ち込み

スタンドパイプは、掘削する穴の中の水位を地下水位より高く保つためのものです。パイプはジャッキを使って地面に打ち込みます。この時、ハンマーグラブで中の土を取り出しながら打ち込んでいきます。



2. リバース掘削



写真のような羽根を回転させて掘削します。掘削した土は、羽根の中心にある直径20cmの配管パイプを通して地上へ吸い上げられます。

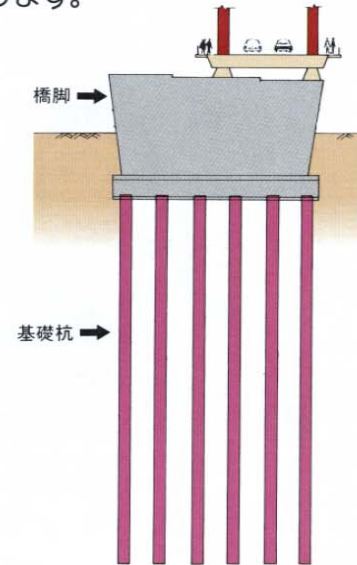


3. 鉄筋カゴ吊り込み

これが杭の骨となります。

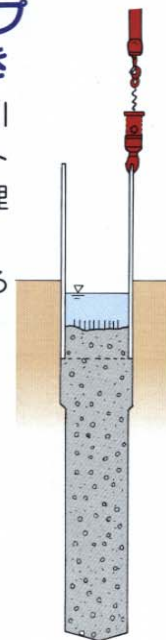


将来、基礎杭の上に橋脚がのります。



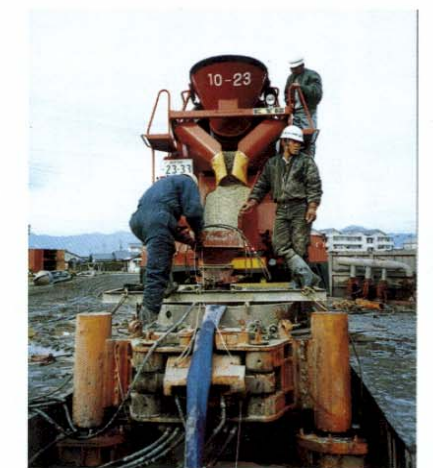
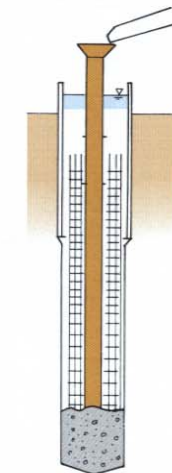
5. スタンドパイプの引き抜き

スタンドパイプを引き抜き、コンクリートが固まるまで、土を埋め戻しておきます。コンクリートが固まると基礎杭の完成です。



4. コンクリート打設

穴の中にコンクリートを流し込むための管を入れ、底の方から管を引き上げながらコンクリートを入れていきます。この時、余分な水はポンプにより取り除きます。



☆現場からひとこと☆



この地盤には10~30cmの石が混じっていて、5~10cmを掘削するのに2~3時間かかることがあり、予定工期内の完了が懸念されましたが、地元の皆様のご理解とご協力により、無事に基礎杭の工事を終えることができました。

工事請負企業の現場代理人 岡田 邦雄

ふれあい
放水路
通信



神戸川ラインサミット開催

一月二十三日、赤来町の農村環境改善センターで、「第二回 神戸川ラインサミット」(同実行委員会主催、建設省・島根県後援)が開催されました。これは、神戸川流域の市町(出雲市、大社町、佐田町、頓原町、赤来町)が連携して、それぞれの特徴を活かしながら地域振興を図ることを目的としたものです。

サミットでは、各首長がパネリストとなり、それぞれの振興計画などを紹介したり、観光などによる交流人口の拡大を図るための行動計画「神戸川ラインランド構想」を進めていくことなどが決められました。

今回はタレントのダニエル・カールさんを迎え、「地域文化と地方の時代」をテーマに得意の山形弁で講演があり、約五〇〇人の聴衆を沸かしていました。

ふれあいとんど祭

崎屋橋の架け替え工事が行われている出雲市西園町の工事現場で、一月十三日、地元のみなさんと工事関係者の約八十人の参加による「ふれあいとんど祭」が行われました。

まず、しめ縄や破魔矢、書き初めなどごとんどを飾り、その前で工事の安全と無病息災を祈願しました。

その後、とんどに火がつけられると、勢いよく炎が上がり、参加した人たちはその火でおもちを焼いたりして、楽しいひとときを過ごしました。



斐伊川自然観察会 バード・ウォッチング

今年も北方からたくさんの方々が穴道湖や中海にやってきました。二月十日、三十六名の参加者のみなさんと斐伊川河口付近でバード・ウォッチングを行いました。



美しい野鳥たちの姿をじっくり観察できたかな？



建設省中国地方建設局
出雲工事事務所

〒693 出雲市塩冶有原町5丁目1番地
☎(0853)21-1850